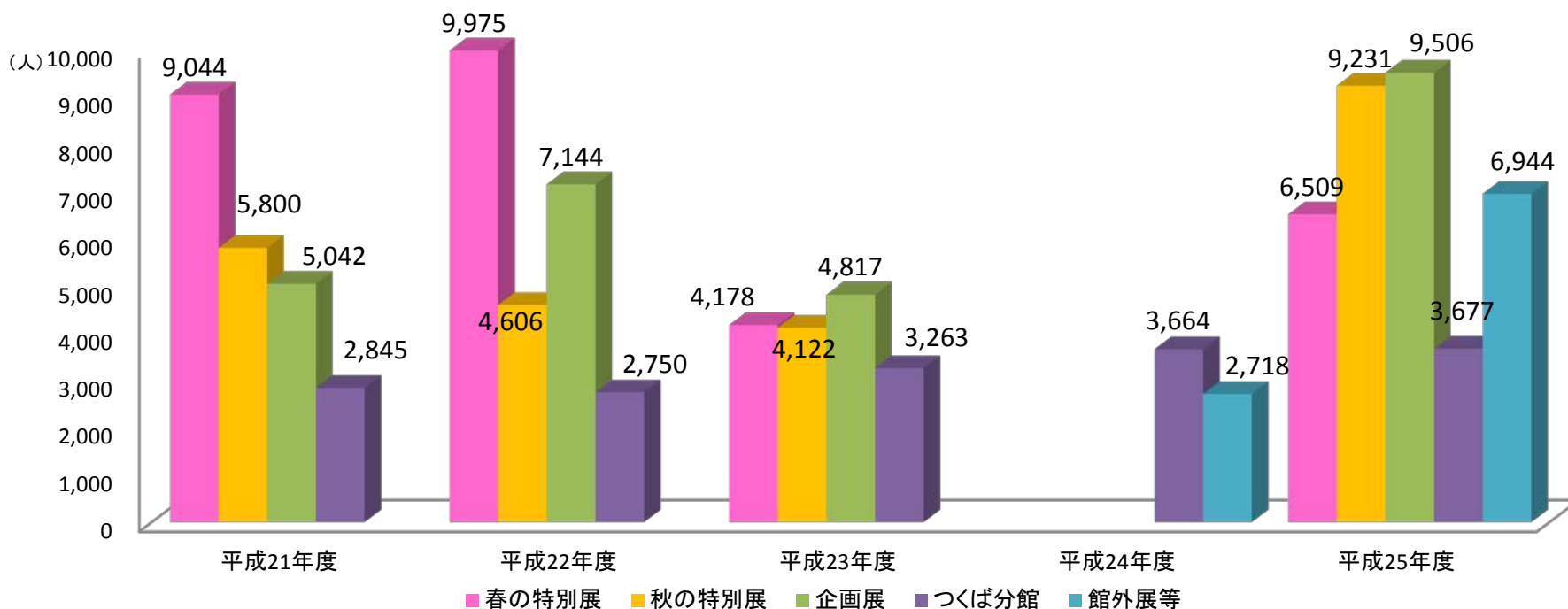


# 特別展・企画展等の実績

年度	春の特別展	秋の特別展
平成21年度	旗本御家人	天皇陛下御在位20年公文書特別展示会
平成22年度	旗本御家人Ⅱ	公文書にみる発明のチカラ
平成23年度	歴史と物語	公文書の世界
平成24年度	—	—
平成25年度	近代国家日本の登場	旗本御家人Ⅲ

※青字は公文書を中核とした企画、黒字は内閣文庫(古典籍・古文書)を中核とした企画。



※平成24年度は耐震補強工事のため、本館での展示を休止した。

# 特別展観覧者の構成

	① 平成23年度 春の特別展 「歴史と物語」  ※内閣文庫	② 平成23年度 秋の特別展 「公文書の世界」  ※公文書	③ 平成25年度 春の特別展 「近代国家日本の登場 —公文書にみる明治—」  ※公文書	④ 平成25年度 秋の特別展 「旗本御家人Ⅲ お仕事いろいろ」  ※内閣文庫
性別	男性65% 女性35%	男性68% 女性32%	男性72% 女性28%	男性57% 女性43%
年代	60代以上(45%) 50代(17%) 40代(17%) 30代(11%) 20代(9%) 20代未満(2%)	60代以上(31%) 50代(17%) 40代(15%) 30代(13%) 20代(16%) 20代未満(7%)	60代以上(42%) 50代(18%) 40代(16%) 30代(10%) 20代(8%) 20代未満(5%)	60代以上(40%) 50代(22%) 40代(19%) 30代(10%) 20代(7%) 20代未満(2%)
居住地	東京23区内(48%)	東京23区内(43%)	東京23区内(48%)	東京23区内(49%)
来館 経 験	・初めての来館(60%) ・来館経験者(40%) (うち) 閲覧経験あり(11%) (うち) 特別展観覧経験 あり(78%)	・初めての来館(53%) ・来館経験者(47%) (うち) 閲覧経験あり(13%) (うち) 特別展観覧経験 あり(76%)	・初めての来館(59%) ・来館経験者(41%) (うち) 閲覧経験あり(19%) (うち) 特別展観覧経験 あり(63%)	・初めての来館(63%) ・来館経験者(37%) (うち) 閲覧経験あり(9%) (うち) 特別展観覧経験 あり(80%)

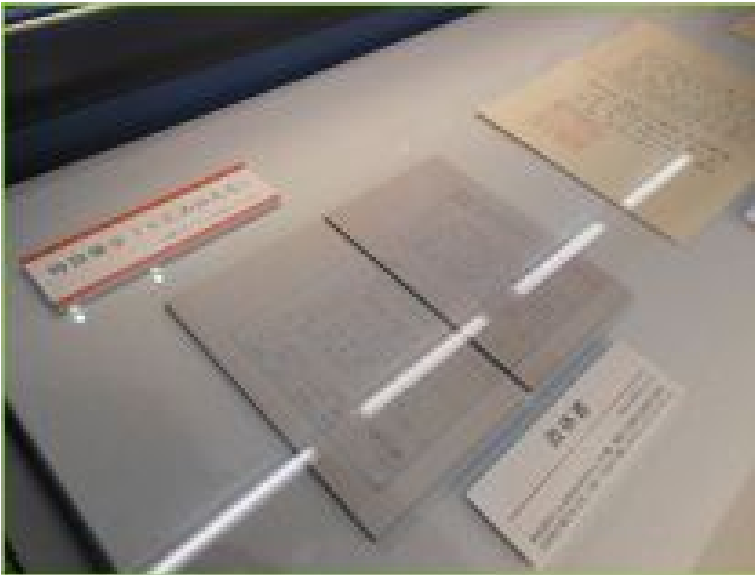
※各回のアンケート調査による。回答率は、①38%、②36%、③39%、④41%。

# 常設展の設置について

## 【現状】

- 特別展・企画展を中核とした取組
- 内閣文庫(古典籍・古文書)に比較して、公文書の中核とした企画の集客力や発信力が弱い

⇒重要な公文書の中核とした常設展を設置(平成26年5月24日)



# 類縁機関等における実績

	国立公文書館(竹橋)	国立国会図書館(永田町)	<参考>東京国立博物館(上野)
基幹業務	来館者(=閲覧者):4,470人 (閲覧:69,166冊) HPアクセス数:約27万件	来館者:507,102人 (閲覧:2,034,121点) HPアクセス数:約1,850万件 <参考>東京都立中央図書館(広尾) 来館者:333,088人(閲覧:1,856,540点) HPアクセス数:約140万件	○平常展:416,430人 ○特別展「ホストン美術館 日本美術の至宝」ほか6回:1,139,264人
付带的業務	○特別展「近代国家日本の登場」 6,509人 特別展「旗本御家人Ⅲ」 9,231人 企画展 計6回 9,506人 ○講演等 10回 356人 ○子ども向けイベント6回 43人 ○見学者 84件 1,220人	○企画展「日本と西洋—イメージの交差」 ※日本関係欧文図書等110点を紹介 3,124人  ○講演/フォーラム 9回 922人 ○子ども向けイベント 2回 295人 ○ガイダンス等2回 276人	○講演 31回 6,952人 ○列品解説/ギャラリートーク90回 5,805人 ○連続講座/公開講座5回 436人 ○展示関連イベント4回 1,689人

※国立公文書館は平成25年度、国立国会図書館及び東京国立博物館は平成24年度実績。

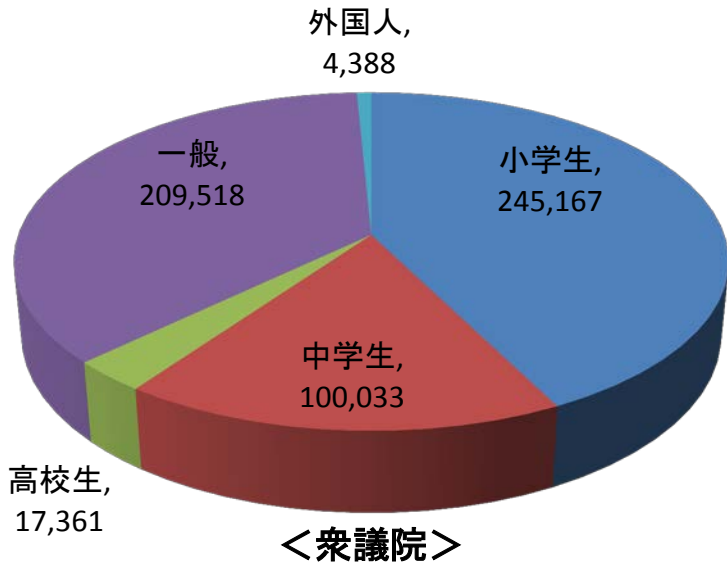
## ○ 衆議院憲政記念館の特別展と国立公文書館の特別展の参観者数

	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年
衆議院 憲政記念館	重光葵とその時代	怒濤の幕末維新	激動の明治国家建設	政党政治への道	大正デモクラシー期の政治
	10,728人	16,481人	15,350人	15,264人	12,100人
国立公文書館	再建日本の出発 —日本国憲法の施行—	学びの系譜 —江戸時代から現代まで—	天皇陛下御在位20周年公 文書特別展示会	公文書にみる発明の チカラ	公文書の世界
	9,681人	3,101人	5,800人	4,606人	4,122人

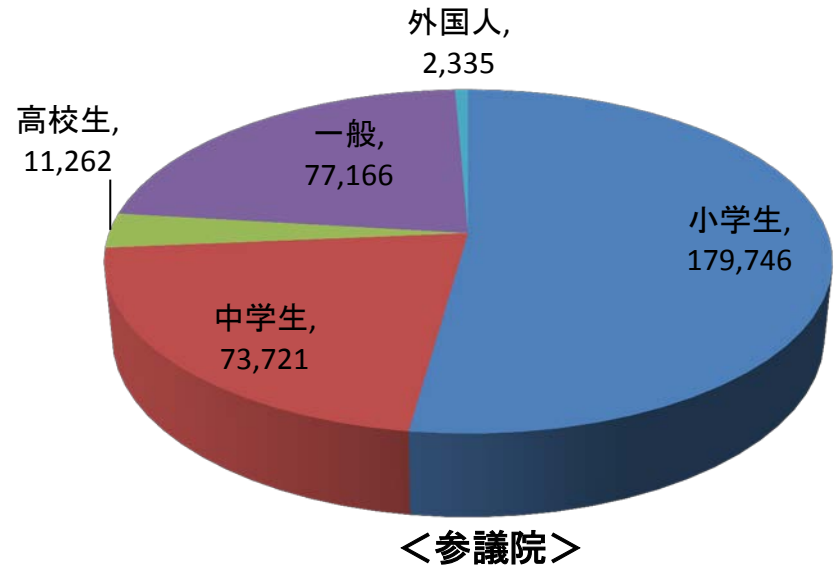
(※1)会期はいずれも概ね3週間程度(憲政記念館の実績は『開館40年 憲政記念館所蔵資料目録』による)。

(※2)国立公文書館は平成19年の特別展において日本国憲法の原本を展示した。

## <参考> 国会参観者数(平成24年度)



合計: 576,467人(うち、小・中学生345,200人)



合計: 344,230人(うち、小・中学生253,467人)

### ○ 衆議院憲政記念館の年間参観者数の構成

(人)

	個人	団体(一般)	団体(学校)	議員・秘書・職員	外国人
平成21年度	20,941	24,666	41,175	196	612
平成22年度	19,507	20,531	40,964	196	943
平成23年度	15,528	15,305	37,909	82	616
平成24年度	15,938	9,611	34,738	164	895
平成25年度	10,049	7,101	29,418	225	542

※平成25年度においては、5月7日から10月6日まで改修工事のため休館。

## ＜参考＞衆議院憲政記念館における体験型展示

衆議院憲政記念館：1972(昭和47)年3月開館。国会の組織や運営などを資料や映像によって紹介するとともに、憲政の歴史や憲政功労者に関する資料を収集して常時展示するほか、特別展などを開催。



### 【議場体験コーナー】

本会議開会ベルが鳴り、内閣総理大臣の演説する映像を議席に座って視聴することが可能。また、演壇や議席での記念撮影も可能。



### 【憲政史シアター】

議会思想が移入された幕末から明治維新、帝国憲法の制定、帝国議会の開設を経て、戦後、新憲法の制定によって新しい国会が発足し、今日に至るまでの「憲政の歩み」を視聴可能。



### 【立体ビジョンコーナー】

帝国議会第1次仮議事堂に初登院する議員たちの有り様や、初めての議会における衆議院議場での議長選挙の様相などを立体映像で視聴可能。

# 国立公文書館における有償頒布物

○ 国立公文書館においては、本館の販売コーナーや郵送により、以下の物品を販売。

## 所蔵資料絵はがき



国指定重要文化財「庶物類纂図翼」、「吾妻鏡」などの中から美しい彩色を施した花やゆかりの資料などを収録(1セット8枚 400円)。

※平成25年度売上：2,330セット、932,000円

## 一筆箋



漢方医で本草学者として知られる森立之が著した鳥類図譜(1861序)(4デザイン16枚 300円)。

※平成25年度売上：259点、77,700円

## 有償頒布図書等



江戸時代の多色刷りの鳥類図鑑である「華鳥譜」等の有償頒布図書や江戸初期の城郭及び町割図である「正保城絵図」(1点500円～6,100円)。

※平成25年度売上：1,209点、1,147,750円

## <参考> 諸外国の公文書館におけるグッズの販売状況

### アメリカ 国立公文書記録管理院 National Archives and Records Administration (NARA)

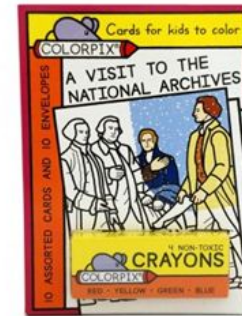
○ ワシントンDCの本館にあるショップや、ホームページを通じて、様々なグッズを販売。



アメリカ合衆国憲法  
実物大レプリカ  
(\$14.95= 約1,500円)



トートバッグ  
(\$22.95=約2,300円)



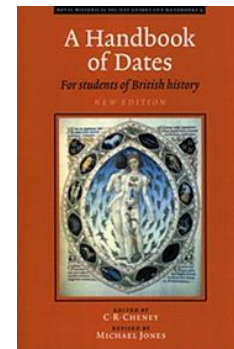
子ども用ぬりえ  
(\$5.95= 約600円)

### イギリス 国立公文書館 The National Archives (TNA)

○ ホームページを通じて、関連書籍等を販売。



クリスマスカード(6枚セット) (£7.50=約1,300円)



英国史を学ぶ人のための日付に関するハンドブック  
(£24.99=約4,300円)



# 諸外国における展示の状況

## アメリカ 国立公文書記録管理院 National Archives and Records Administration (NARA)

- ワシントンDCにある国立公文書館では、研究者等が利用するエリアとは別に、一般向けの展示エリアがある(展示エリアについては、感謝祭・クリスマスを除き毎日開館)。
- 展示エリアの入場者数は、年間823,634人(2013年)。  
(ワシントンDCにおける研究者エリアの入場者数は、年間20,682人(2013年))  
(新館(メリーランド州)における閲覧利用者は、年間49,188人(2013年))
- 展示エリアには、3つの常設展会場と1つの企画展会場がある。



独立宣言

合衆国憲法

権利章典



＜独立宣言、権利の章典、合衆国憲法が常設展示されているロタンダ(円形展示室)＞

展示ケースのフレームはアルミ・チタン合金製で、中はアルゴンガスで満たされている。開館中は警備員2名が常時警備し、閉館時はケースごと地下に格納される。



＜昨年12月にオープンした「権利の記録」をテーマとしたギャラリー＞

大きなタッチパネル式の展示があるほか、労働者・女性・移民等の権利に関する文書が展示されている。



書庫を模した常設展示室では、国立公文書館に保存されている様々な媒体の記録が紹介されている。



- 公文書館内の常設展示スペースとして、「キーパーズ・ギャラリー」がある。
- 具体的な展示物としては、チャールズ1世の裁判記録、女性参政権運動、アフリカ植民地等に関する資料などがある(展示内容は定期的に替わる)。



＜常設展示＞



＜第五共和政憲法(複製)＞

- 国立公文書館と文書博物館が一体となっており、常設展示室と企画展示室がある。常設展示室を回れば博物館の展示品と貴重文書の複製が見られる。
- 具体的な展示物としては、第五共和政憲法、ナポレオンの遺言、球戯場の誓い(いずれも複製)などがある。
- 展示エリアの入場者数は、年間180,880人(2011年)。

(注: 閲覧やレファレンス以外のその他の来館者数を含む)

- ドイツ連邦公文書館においては、それぞれの施設において展示を実施。



＜ベルリン本館のパネル＞

ベルリン本館における展示は、入口近くにあるパネルのみ。



＜ルードヴィヒスブルク館の常設展＞



＜ラシュタット館の常設展＞